

「中学校教師の自己主張の型と言葉」

ステップ1 YESの言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・鋭い考え方ですね。 ・流石ですね。 ・そういう視点もあるのですね。 ・なかなか私ではそのような考えは思いつきません。 ・なるほど（感嘆を示す） ・私が〇〇先生の立場なら、同じように感じます。 ・経験に裏打ちされていますね。
ステップ2 クッション言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・念のため（確認したいのですが）、 ・恐れ入りますが、 ・誤解かもしれないのですが、 ・申し上げにくいのですが、 ・私の思い違いかもしれませんが、 ・もしかして、私の勘違いかもしれませんが、 ・大変失礼なのですが、 ・生意気かもしれませんが、 ・間違っていたら言ってください。
ステップ3 BUTの言葉	<p><1>質問型</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いくつか質問してもよろしいでしょうか。 ・～は本当なのでしょう。 ・〇〇先生の言っている内容の根拠となっているのは、〇〇先生のどのような考えからですか。 ・〇〇という問題が出てきますが、どうしたらいいのでしょうか。 ・〇〇は、どうすればできるのでしょうか。何かコツはありますか。 ・～について、詳しく聞かせていただけないのでしょうか。 ・なるほど、〇〇という面もあると思いますが、いかがでしょうか。 <p><2>確認型</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇先生がおっしゃりたいのは、～ということでしょうか ・～という事実はあるのでしょうか。 ・～と理解してよろしいでしょうか。 ・～ということによろしいでしょうか。 ・～と考えてよろしいでしょうか。 ・～となりますがよろしいでしょうか。 <p><3>提案（代替案）型</p> <ul style="list-style-type: none"> ・～と私は考えていますがいかがでしょうか。 ・～なら何とかできるのですが、いかがでしょうか。 ・そもそも、〇〇ではないでしょうか。 ・～については、7割までなら（達成度条件）できます ・～については、〇〇なら（単純条件）できます。 ・～については、来週中なら（期間条件）できます。 <p><4>依頼型</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1つだけお願いしてもいいですか。 ・～してください。よろしく申し上げます。
ステップ4 クロージング	<ul style="list-style-type: none"> ・（こちらこそ）〇〇先生と話をさせてもらいよかったです。 ・これからも、ご指導お願いします。 ・お忙しい中時間をとってくださりまして、ありがとうございました。 ・～して下さって嬉しいです。
心構え	<ul style="list-style-type: none"> ・心無い教師の前では、「聴くこと」を意識し過ぎない。 ・心無い教師の前では、「沈黙は金、雄弁は銀」ではない。 ・相手の圧力絶対に屈しない。 ・社会人としてのマナーは必ず守る。 ・「WIN-WIN」（双方の利益がある状態）がゴール。 ・相手の気持ちへの感度を下げ、相手が言った内容への感度を上げる。